

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：11/5～11/9

・11/5(月)

アメリカ中間選挙、入管難民法改正法、桜田大臣の資質、青森市議会議員のツイート、中国上海で輸入展、北朝鮮の携帯電話普及状況、サウジアラビア人ジャーナリスト殺害事件などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、アメリカ中間選挙については高く評価できるものでしたが、桜田大臣の資質については問題および印象操作の疑いが見られるものでした、また、入管難民法改正法については他の放送日との合わせての判断が必要と考えられるものでした。

・11/6(火)

アメリカ中間選挙、星浩が玉城知事を直撃、自民党と国民民主党幹部の会食、韓国徴用工訴訟、片山大臣の報告書に記載漏れなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、星浩が玉城知事を直撃については他の放送日との合わせての判断が必要とされるものでした。なお、星浩が玉城知事を直撃および韓国徴用工訴訟については検証者の所感を記しました。

・11/7(水)

アメリカ中間選挙、広がるポピュリズム、外国人の保険適用、徴用工判決、東海第二原発の運転延長、片山議員への追求、補正予算案成立について報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、アメリカ中間選挙および徴用工判決については放送法上問題の見られる場面がありました。

・11/8(木)

ロサンゼルス銃乱射事件、米中間選挙、「イッテ Q！」に疑惑報道、国会議員の元秘書逮捕、米朝首脳会談、柏崎刈羽原発の火災などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、「イッテ Q！」に疑惑報道および国会議員の元秘書逮捕については検証者の所感を記しました。

・11/9(金)

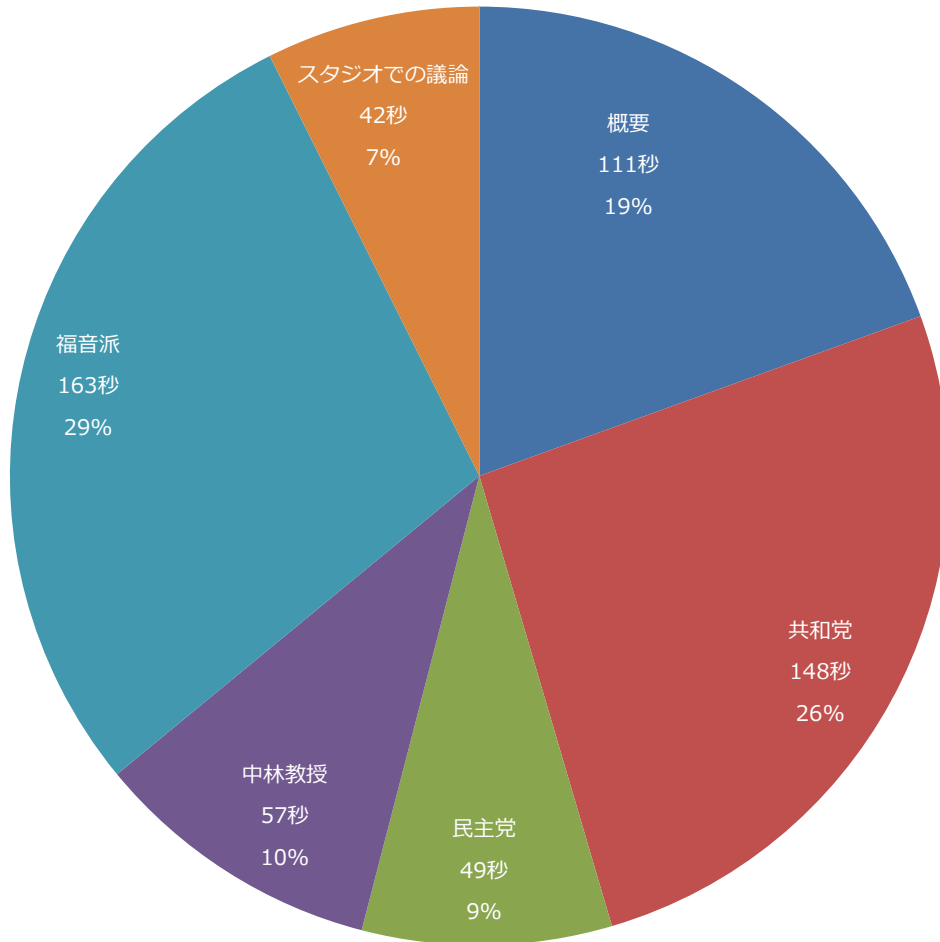
資質問われる大臣たち安倍政権に影響も、平成最後の園遊会、日本の難民認定の高い壁、辺野古移設で国と沖縄県が初協議、会計検査院が検査結果を安倍総理に報告などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、資質問われる大臣たち安倍政権に影響もというトピックについては問題のある点が見られました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年11月5日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：アメリカ中間選挙、入管難民法改正案、桜田大臣の資質、青森市議会議員のツイート 中国上海で輸入展、北朝鮮の携帯電話普及状況、サウジアラビア人ジャーナリスト殺害事件</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ中間選挙 ・入管難民法改正案 ・桜田大臣の資質 ・青森市議会議員のツイート ・中国上海で輸入展 ・北朝鮮の携帯電話普及状況 ・スポーツ報道 ・23Today アメリカ中間選挙 サウジアラビア人ジャーナリスト殺害事件 グアテマラ、ペテン県で日本人女性2人殺傷 SUBARU が不正について発表と追加リコールの実施 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ中間選挙：結論→高く評価 <p>明日に迫ったアメリカ中間選挙の投票について取り上げられた。このトピックでは概要を伝える場面、共和党の選挙運動について取り上げる場面、民主党の選挙運動について取り上げる場面、アメリカについての専門家で早稲田大学の中林美恵子教授の見解を紹介する場面、キリスト教福音派について取り上げた場面、VTR を承けてのスタジオでのやり取りという場面に大別された。それぞれの場面について取り上げられた時間配分及びその比率は以下の通りであった。</p>		



共和党については以下に朱記した場面が取り上げられていた。

トランプ大統領「2016年の大統領選以来の熱気だ。アメリカを再び偉大にする！」

ナレ「日本時間の明日午後に始まる投票を前に強気の姿勢を見せるトランプ氏。先週末からこの四日間で休暇書を回り 72歳という年齢を感じさせないラストスパートを見せています。激戦州フロリダの集会では。」

トランプ大統領「偉大な国になるには強大で強力な国境が必要だ。」

聴衆「壁を作れ！ 壁を作れ！」

ナレ「この日はミニトランプとして知られる州知事選の共和党候補が登場。自身の妻と子供を出演させた PR ビデオがこちらです。」

妻「素晴らしい父親で子供と遊ぶのが大好きです。本も読んであげます。」

候補「トランプさんは言いました「お前は首だ」このパート好きなんだ。」

妻「話し方も教えています。」

候補「メイクアメリカグレイトアゲイン」

ナレ「トランプ人気にあやかった選挙戦を展開する共和党。上院では過半数を死守すると見られています。」
ナレ「さらに当初は劣勢だった下院でも最新の予測では共和党が追い上げ、過半数を巡る攻防は予断を許さない状況が続いています。」

また、民主党のオバマ元大統領の選挙運動に対抗しての、トランプ大統領が「嘘に次ぐ嘘、公約を破ってまた破る、これが彼（オバマ）がやったことだ。」と述べたシーンや「イラクへの制裁は非常に強力だ、過去最強の制裁だ。」と、オバマ時代の遺産だったイランとの各合意の離脱を表明しそして今日はイランからの原油輸入禁止などの制裁を再び発動したとのことも取り上げられた。

民主党については以下に朱記した2つの場面が取り上げられた。

【場面1】

ナレ「一方の民主党、応援に駆けつけたのはこの人、」
オバマ「イエスウィーキャン。」
ナレ「オバマ前大統領。各地の集会を回り民主党支持を呼びかけています。」
オバマ前大統領「アメリカは今岐路に立たされている、この国の品格を決めるのは今回の投票だ。」

【場面2】

オバマ大統領「同性婚を支持することが自分にとっても重要だとの結論に至った。」
中林教授の見解を紹介する場面では中林美恵子「前の大統領が、ましてや退任してからこんなにすぐに出てきて、現職の大統領を批判するという事は非常に稀なことです。私達の民主主義を守るためにも感化できないものがあるからひとりひとりの市民の皆さんに投票に行ってもらいたい、ということをお願いしてトランプ大統領批判をも遠慮せずに行っている部分が出てきている。」や「福音派、プラスまあ、共和党の支援者の人たちがトランプ大統領に求めてきたものの一つです、共和党支持者、保守的な人たちへのアピール」という見解が紹介されていた。

福音派については以下に朱記した2つの場面が取り上げられていた。

【場面1】

神父「神代私達はトランプ大統領とペンス副大統領のために祈ります。神よ中間選挙であなたがふさわしいと思う人物が選ばれるよう祈ります。」
ナレ「ここは中西部、ミズーリ州にある教会。トランプ氏の勝利を祈るこちらの男性は牧師です。」
佐藤祥太（報告）「こちらは聖書の教えを重んじる福音派の協会なんですが、ほとんどの信者はトランプ大統領の支持者でもあります。」
ナレ「キリスト教福音派、メガチャーチと呼ばれる大きな教会でコンサートの様な礼拝をすることでも知られています。聖書の言葉を忠実に守るつ押し、同性婚や妊娠中絶に否定的な立場です、この福音は、アメリカの人口のうち実に4分の一を占めるとされていてその動向は選挙戦を大きく左右します。その福音派から7割前後と高い支持を受けるトランプ氏、彼らがトランプ氏を支持する理由、ここにもオバマ氏を支持する理由が見えてきます。」

【場面2】

ナレ「オバマ政権のもと急速に進んだ同性婚の合法化、同性婚は聖書に記述がないとする福音派にとってこうした政策は受け入れがたいことでした。」
ナレ「その後の大統領選挙では白人福音派の8割がトランプ氏に投票したとされています。」

福音派の信者「アメリカの原点、神への信仰に基づく国に我々が立ち返るべく神があつた男を選んだのだ。」

ナレ「大統領に当選して2年、トランプ氏は福音派の期待に答え続けてきました。」

トランプ大統領「我々はエルサレムをイスラエルの首都と認めここに大使館を開設した。」

ナレ「イスラエル支持は福音派が重視するものの一つです、世界に波紋を広げたこうした政策も福音派にはクリーンヒット、トランプ氏の問題発言にも目をつぶります。」

オブライエン牧師（福音派）「彼の問題発言やツイートはもちろんしなければいいと思いますよ。しかしこの成果に対して私は支持を祈りを祝福を続けます。」

ナレ「トランプ渦は福音派がお多く済む地域で重点的に集会を開きし支持固めに奔走しています。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

雨宮塔子「福音派は理念には厳しいですから、トランプ氏の問題発言には目をつぶっても不倫疑惑は問題視すると思うんですけどね。」

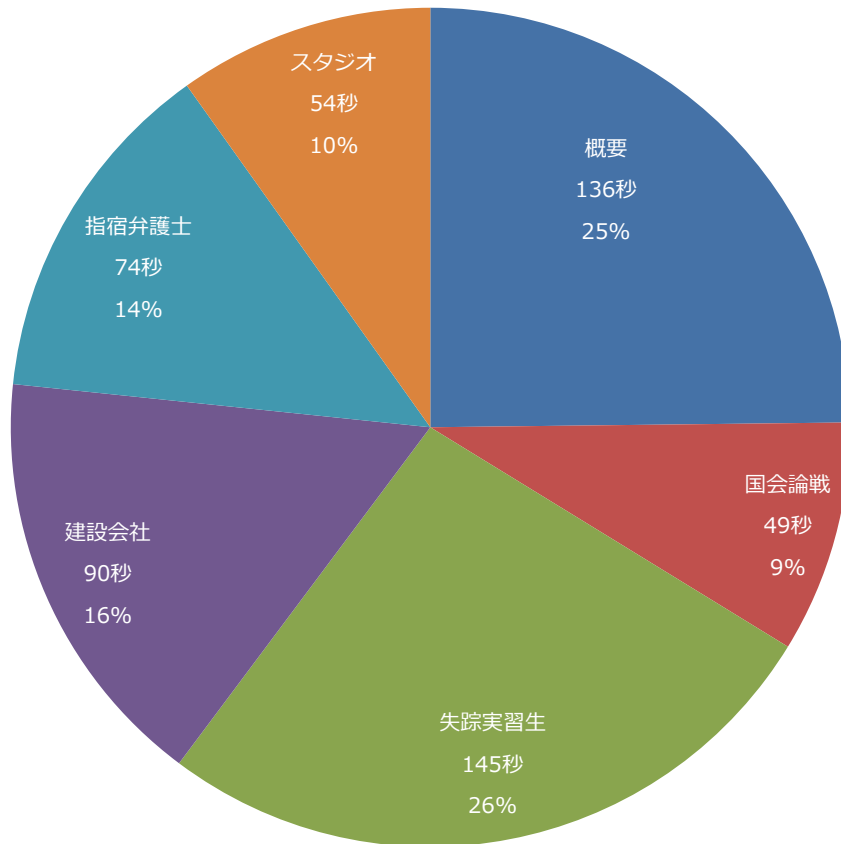
星浩「そうですね、トランプさんの一連の言動にはあんまり好ましくないと思っているんでしょうけども、福音派からするとね、それ以上に民主党のリベラル派に対して敵対心を持っているということなんですね。まあ元々はねトランプさんがオバマさんを含む民主党を攻撃、強く攻撃して民主党がそれに反撃したという経緯ですから、どんどんその民主党側も急進的になってきているって言うわけで、その結果その分断対立が強まっている、これはおそらく中間選挙のあとも続くんでしょうね。」

アメリカの人口のおよそ4分の1を占めるキリスト教の福音派を取り上げたこと、スタジオでの星キャスターの「福音派からするとね、それ以上に民主党のリベラル派に対して敵対心を持っているということなんですね。まあ元々はねトランプさんがオバマさんを含む民主党を攻撃、強く攻撃して民主党がそれに反撃したという経緯ですから、どんどんその民主党側も急進的になってきているって言うわけで、その結果その分断対立が強まっている、これはおそらく中間選挙のあとも続くんでしょうね。」というコメントなど、共和党・民主党の相互作用で分断や対立が進んでいるという指摘については放送法第一条一向二号「政治的に公平であること」という点でも好ましいものであると言えるものであった。

・入管難民法改正法：結論→他の放送日との合わせての判断が必要

入管難民法改正法と技能実習生を巡る問題が取り上げられていた。このトピックについては問題の概要などを取り上げた場面、国会論戦を取り上げた場面、失踪した実習生について取り上げた場面、失踪した実習生を雇っていた建設会社社長の意見を紹介した場面、外国人労働者問題に詳しい指宿昭一弁護士の見解を紹介した場面、VTRを承けてのスタジオでやり取りが繰り返されられた場面に大別された。

このトピックについて取り上げられていた時間は秒で、それぞれの場面への時間配分及び比率は以下の通りであった。



国会論戦では以下に朱記した2つの場面が取り上げられていた。

【場面1】

長妻昭（立憲民主党衆院議員）「失踪者ですね技能実習生の、今年の1月から6月までで何人ぐらい失踪されました？」

山下貴司（法相）「4279名というふうに聞いております。」

長妻昭「これ異常ですよ、はっきり言って、異常ですよ。」

【場面2】

蓮舫（立憲民主党副代表）「永住権の道が開かれる、つまり移民政策への入り口じゃないですか、総理違うんですか。」

議長「安倍内閣総理大臣」

安倍総理「在留を続けることによって自動的に認められるものではないということは申し上げておきたいと思えますし、これ、ハードルはかなり高いものになります。」

失踪した実習生については以下に朱記した場面が取り上げられていた。

ナレ「福島県小売山師の一軒家、技能実習生として来日したベトナム人が身を寄せ合い暮らしています。三年前

に来日したカインさん、去年ある仕事が来かけで実習先の建設会社から逃げ出しました。」

"記者「なんというふうに言われた仕事をしたのでしょうか。」

カインさん（技能実習生）「ええと、建設の機会を運転します。」

記者「実際は何をしたのでしょうか？」

カインさん「実際は除染をしました。」 "

ナレ「郡山市のほか避難指示区域にもはいつて原発事故に伴う除染作業をさせられたというのです。」

労働者「今は休憩中です。土をほった後にまだ休憩します。」

カインさん「おかしいと思ったけど、でもその時全然日本語できないし、聞きたいけど聞けなかった。」

ナレ「これは、カインさんの雇用契約書、業務内容は建設機械の操作や解体、となっていて除染という文字はありません。」

カインさん「なんで俺なの、なんで説明してないまま、送るのとか。」

ナレ「日本で技能を学び、その技能を母国の発展に活かすことを目的として始まった技能実習制度。国際貢献として位置づけられています、しかし、制度の趣旨とは程遠い働き方をさせられるケースは跡を絶ちません。」

"Q(テロップ)「除染作業して学ぶことはあった？」

カインさん「ベトナムは除染するわけないでしょ。原発もないし。絶対除染ないですよ、ベトナムでは。除染だとわかったら絶対にほんこなかったです。」

失踪した実習生を雇っていた建設会社社長については以下に朱記した場面が取り上げられていた。

ナレ「カインさんを雇った会社側はこの問題をどう捕えているのでしょうか。実習先だった盛岡市の建設会社を訪ねました。取材に応じた社長になぜ技能実習生に除染作業をさせたのか聞いてみると。」

"建設会社社長「だめだって言われてないから、何が問題あるのって話だよ。」

ナレ「と、持論を展開する社長。カインさんが説明もなく除染作業させられたと訴えていることについては。」

建設会社社長「全部話してる、面接のときに、お前たちが来たらまず働く場所は今の所福島だよ、と。今、手がけているのが除染だから。」

記者「提出された書面には書面には一応、除染作業という文字はなかったかと、」

建設会社社長「だって除染作業なんてないもの、建設業の中には色んな仕事があるわけですよ、予定していた仕事どおりなんてやってたら仕事にならないわ。」

ナレ「更に技能実習の趣旨に反するのでは、と問うと。」

建設会社社長「技能を実習させるつもりで雇ったわけでもないけどね、あくまで労働力だから。これは。技能実習生という制度が、実習じゃないから、もはや。どこの世界で足手まといじゃないけれど、お金を払って勉強させなきゃいけないの、こっちが。」

指宿弁護士の見解については以下に朱記した2つの場面が取り上げられていた。

【場面1】

ナレ「専門家は」

指宿昭一（外国人労働者問題に詳しい弁護士）「何の役にも立たない、これを技能実習の名前でやらされてる、しかも、これちゃんと事前に説明もなく危険性とか分からずにやらされていたわけで、こういうことが技能実習の現場では数多く起こっています。」

【場面2】

ナレ「実習生失踪の背景は様々ですが、専門家は今後の受け入れ拡大に向けた制度設計でもこうした技能実習制度の反省を踏まえた議論が必要だと話します。」

指宿弁護士「とりあえずスタートしてみんなが知恵を寄せればいい制度ができるはずだ、と、そういう楽観論は危険だと思います。信じられないような人権侵害が数多く起っているわけですから、この教訓をちゃんと踏まえて良い制度を作る、日本は人権が守られて働きやすい国だということにならなければ来てくれる人がいなくなります。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

駒田健吾「JNNはこの週末に世論調査を行いました。それによりますと今回の外国人労働者の受け入れ拡大の法案について賛成は41%、反対は44%でした。」

雨宮塔子「ええ、賛否が拮抗していますよね。」

星浩「そうですね、人手不足どうにかしてくれってという声と、この制度で大丈夫かなってという不安とがまあ入り混じっているんでしょうね。」

駒田健吾「そして、この入管難民法改正案については与党側は当初8日の審議入りを目指していましたが、野党側の合意が得られたということで来週13日からの審議入りになる見通しです。星さん、どんな議論が行われるんでしょうか。」

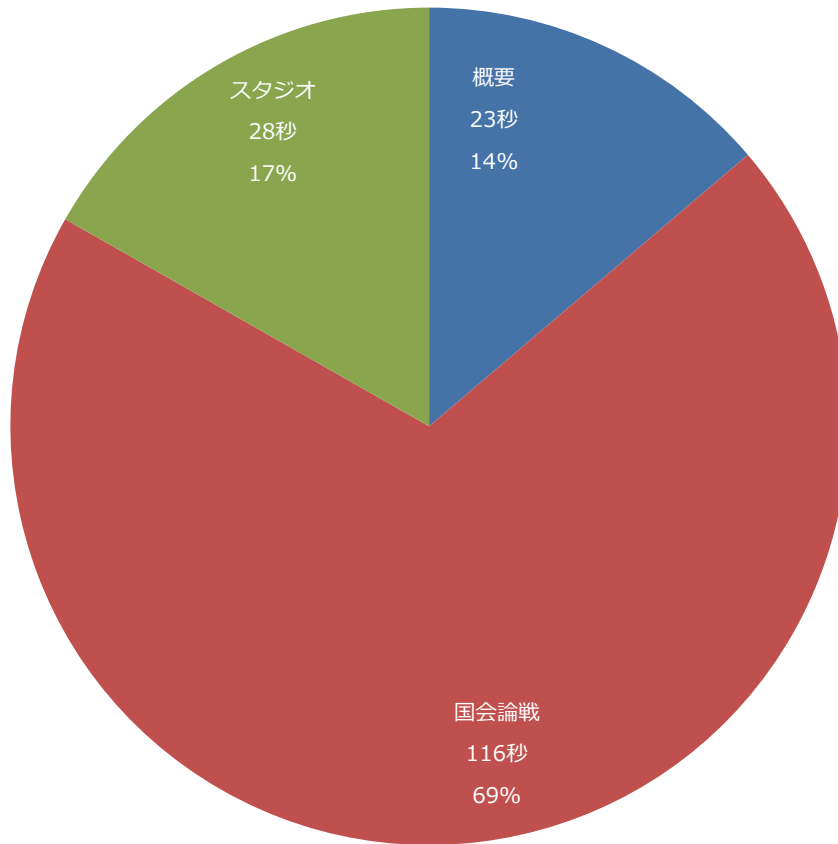
星浩「そうですね、あのVTRにもありましたように、例えば新しい制度でその建設業で受け入れて除染をやらせるということができちゃうのかどうかね、そこをチェックできないのかどうか、それからまあ医療制度の問題、それから人数の上限とかね、詰めるべき点は山ほどあるんですよ。」

与党内には受け入れ反対の声もあったが野党はどうなのだろうか、懸念事項をクリアすれば受け入れ自体には賛成という立場なのだろうか。今回は立憲民主党の質疑のみだったので、そのあたりはあまり見えてこなかった。

今回の国会質疑を取り上げた場面では立憲民主党による質疑のみが取り上げられていた。今回の報道からだけでは判断できないが、今回のような取り上げ方が続き、他の政党が取り上げられないということになれば、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」および同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして問題となってくると言えるだろう。

・桜田大臣の資質：結論→問題あり

国会で桜田大臣の資質が問題視されたことについて伝えられた。このトピックについては概要についての場面、国会質疑の場面、スタジオでのやり取りの場面に大別された。このトピックについて当てられた時間は秒で、それぞれの場面の時間配分及び比率は以下の通りであった。



国会論戦については以下に朱記した場面が取り上げられていた。

蓮舫（立憲民主党副代表）「大臣、ご自身オリパラ担当にふさわしいと考えるのはどこでしょうか。」

桜田義孝五輪相「なぜ選ばれたのかは私はわかりませんが、それは総理が適材適所と思って選んでいただけたと思って、その選んでいただいた人に立派に任務を果たすようにしっかりと取り組んでいくつもりでございます。」

ナレ「なぜ、私なのかわからない、述べた桜田オリンピック担当大臣、担当の東京オリンピック・パラリンピック関連の政府予算がいくらまで膨らむのかと聞かれると。」

桜田義孝「東京都や組織委員会の取り組みを支援する立場でございますのでしっかりと、支援していきたいと思っております。」

ナレ「要領を得ない答弁に審議は中断。」

野次「質問に答えろよ」

議長「速記を止めてください。」

ナレ「更に、大会の経費について聞かれた際は。」

蓮舫「この 8011 億と指摘された中で国や国の関連予算、いくらだと思っております。」

桜田義孝「1500 円でございます、あっ、ごめんなさい。1500 億円でございます。1500 億円でございます。」

ナレ「茂木大臣も思わずこの表情（苦笑した表情が映し出される）。後ろに控える事務方がサポートしますが、蓮舫氏からのほぼすべての質問に自身で答弁することができず、席に戻ると何度も汗を拭う姿が見られました。」

ナレ「安倍総理も桜田大臣を覗き込んで、この表情。（安倍総理の苦笑した表情が映し出される）」

ナレ「さらに蓮舫氏がオリンピック予算の見直しを提案すると。」

桜田義孝「レンボウさんの言う通り、検討してみたいと思います。」

蓮舫「レンボウです。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮塔子「すみません、見ている私も変な汗を書きましたけれども、また国会が紛糾しますね。」

星浩「そうですね、片山大臣、それから山下法務大臣に続いて、いずれも新人閣僚ですよ、まああんまり閣僚として勉強しているって言うよりもとにかく各派閥の当選回数が多い人からこう取ってきた、っていう今回の改造がありましてね、当初から大丈夫かなっていう懸念があったんですけど、その残念ながら懸念が的中しているっていうのが現状だと思いますね。」

スタジオでは星キャスターが今回の改造について「あんまり閣僚として勉強しているって言うよりもとにかく各派閥の当選回数が多い人からこう取ってきた、っていう今回の改造がありましてね、当初から大丈夫かなっていう懸念があった」と述べていたが、実際の総裁選直後や、内閣改造人事を巡る報道では「入閣待望組が多い中で彼らの処遇が政権にとって一つの課題」などと、「入閣待望組」の期待を煽るような発言こそすれど、「今の入閣待望組に本当に大臣の資質がある人がいるのか」などという懸念を表明するコメントはしていなかった。

今回の報道のみならず、そうした閣僚人事を巡る報道の前後を含めて考えた場合、そうした懸念が存在しながら報じてこなかったと言える。これは放送法第四条一項三号「報道は事実をまげないですること」という点から見ても問題であると言えるし、これまでの報道では「報道しない自由」を行使していたという批判も免れ得ないものであると言えるだろう。

また「片山大臣、それから山下法務大臣に続いて、いずれも新人閣僚ですよ、まああんまり閣僚として勉強しているって言うよりもとにかく各派閥の当選回数が多い人からこう取ってきた」とあるが、確かに桜田大臣の当選回数は衆院で当選8回であるから、そう言えるかもしれないが、片山大臣は参院1回に衆院2回で副大臣経験はなく、山下大臣は衆院での当選3回で副大臣経験はなく山下大臣の所属する石破派であれば後藤田正純（衆院7回）、古川禎久（衆院6回）、赤沢亮正（衆院5回）、平将明（衆院5回）など、より当選回数が多い議員は他にもいる。このことから、今回例示された三大臣について「とにかく各派閥の当選回数が多い人からこう取ってきた」と言えそうなのは桜田大臣だけで、片山大臣や山下大臣については当てはまらないことであり、これも放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」に照らして問題であると言える。

・青森市議会議員のツイート：結論→特に問題なし

青森市の市議会議員に初当選した山崎翔一氏が差別的な言葉を使ってTwitter上に投稿していた問題で今日、男性が謝罪したとのことが報じられたとともに、山崎氏の「年金暮らし爺をなめ過ぎ、平日の役所窓口で罵声叫んでいるのだから爺さん、君にそんなエネルギーあるんかい。」という投稿が取り上げられたとともに、他にもLGBTや障害者に対しても不適切な表現を投稿していましたが差別したり侮辱するような意図はなかったと謝罪したことおよび、山崎議員の「不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。」「同級生の友達が仕事で

疲れて元気がない、年金暮らしじじいになりたい、というような旨の投稿をしており、それに対して私が返信する形で年金暮らしジジイという言葉を用いました。」「議員活動を続けていきたい、初めて行きたいというふうに考えています。」という言葉が取り上げられた。

また青森市民（高齢男性）の「異常だと思うな。」というコメントや青森市民（高齢女性）の「年金暮らしの人にしてはいい気分ではない。」というコメントが取り上げられていた。

このトピックについて当てられた時間は 118 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・中国上海で輸入展：結論→特に問題なし

米中の貿易戦争が泥沼化する中で中国の上海で輸入をテーマとした大規模な博覧会がはじまり、172 の国と地域から 3600 社以上が出展し日本からは国別で最多の 435 社が出展したこと、習近平（中国国家主席）は開幕式で「中国は（市場）開放の扉を閉じませんますます扉を開き更に高いレベルの（市場）開放への歩みは止まりません。」とアメリカの保護主義的な姿勢を暗に批判した一方、市場開放に前向きな姿勢を強調したとのことが伝えられた。この問題に当てられた時間は 43 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・北朝鮮の携帯電話普及状況：結論→特に問題なし

韓国のチョ・ミョンギョン統一相は北朝鮮で普及している携帯電話が 600 万台に達したとみられると明らかにしたこと、北朝鮮の人口のおよそ 4 人に 1 人が所有していることになるとのこと、チョ統一相によると、携帯電話の販売価格は一台あたり日本円でおおよそ 1 万 1000 円から 2 万 2000 円で通信回線は 3G より下の水準と見られているとのこと、インターネットへの接続には制限が設けられているとのことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 35 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・サウジアラビア人ジャーナリスト殺害事件：結論→特に問題なし

ソフトバンクグループの孫正義社長はサウジアラビア人ジャーナリストが殺害された事件について決してあってはならない悲惨な事件だと強調し遺憾の意を示したこと、一方で孫社長は「サウジ国民に皆様の将来に対する責務を果たすべきだ」と述べ、サウジアラビアの政府系ファンドとの関係については今後も続ける考えを述べたとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 27 秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・桜田大臣の資質：結論→問題あり

スタジオで浩星キャスターは「片山大臣、それから山下法務大臣に続いて、いずれも新人閣僚ですよ、まああんまり閣僚として勉強しているって言うよりもとにかく各派閥の当選回数が多い人からこう取ってきた、っていう今回の改造がありましてね、当初から大丈夫かなっていう懸念があったんですけど、その残念ながら懸念が的中しているというのが現状だと思いますね。」とコメントしていたが、この三大臣について、たしかに桜田大臣については資質が問題視されていると言えるが、片山大臣は政治とカネについて、山下大臣は内閣の重要課題で矢面に立っているから、と追及される理由はそれぞれ異なり、片山大臣や山下大臣については大臣の資質

NEWS23 週刊報告 詳細版

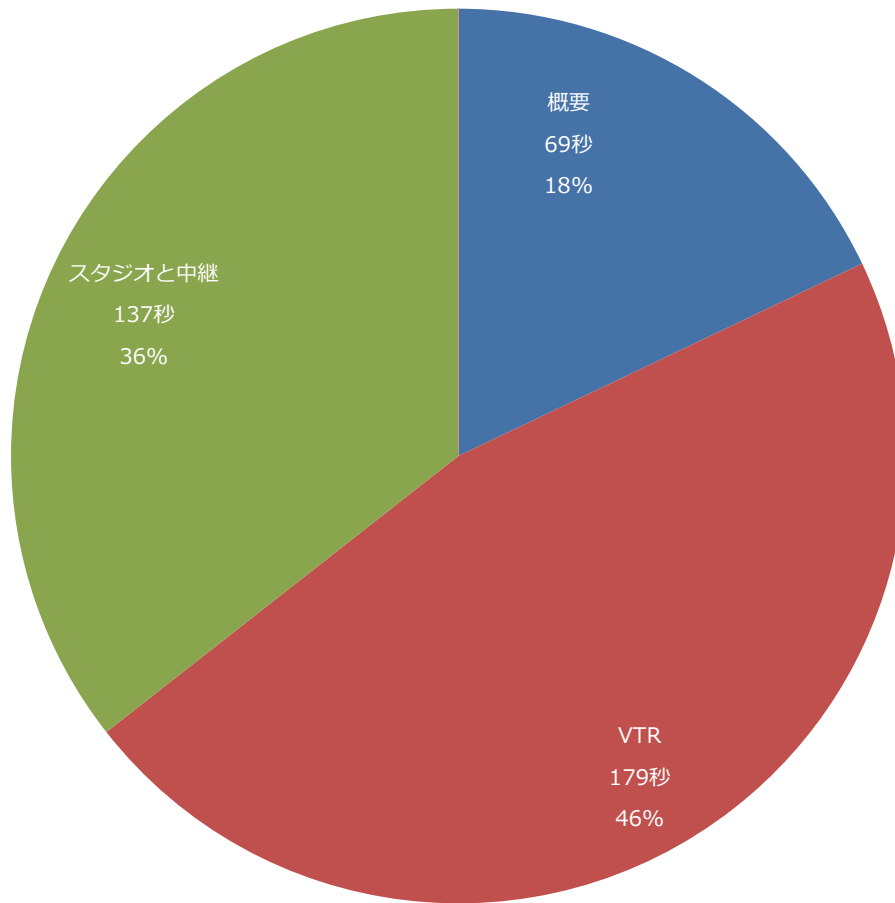
とはまた違った点で追及されている。また、当選回数という事実を踏まえても片山大臣や山下大臣と桜田大臣とは大きく違っている。そうした中で桜田大臣の問題に関連して「片山大臣、それから山下法務大臣に続いて、いずれも新人閣僚ですよ、まああんまり閣僚として勉強しているって言うよりもとにかく各派閥の当選回数の多い人からこう取ってきた、っていう今回の改造がありまして」などとコメントするのは、片山大臣や山下大臣も桜田大臣と同様に「とにかく各派閥の当選回数の多い人からこう取ってきた」という事実とは異なる印象を視聴者に対して抱かせてしまう恐れの高いものであったと言える。

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年11月6日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：アメリカ中間選挙、星浩が玉城知事を直撃、 自民党と国民民主党幹部の会食、韓国徴用工訴訟、片山大臣の報告書に記載漏れ		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ中間選挙 ・星浩が玉城知事を直撃 ・冬の味覚ズワイガニに異変、3年後に半減？ ・障害者雇用を巡る訴訟、東京高裁で和解 ・グアテマラで殺害された邦人女性について被害者の母が語る ・東京八王子で通に女子いじめで自殺か ・自民党と国民民主党の幹部が会食 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> アメリカ中間選挙 玉城デニー県知事が菅官房長官と面談 韓国徴用工問題 片山大臣の報告書に記載漏れ 免震データ改ざんの KYB が中間決算で赤字 119 億円 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ中間選挙：結論→問題なし <p>アメリカ中間選挙について報じられた。概要の場面と中間選挙の様子 VTR、VTR を承けてのスタジオでのやり取りの場面に大別された。このトピックについて当てられた時間は秒で、それぞれの場面への時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>		



VTR では以下に朱記したように取り上げられていた。

ナレ「かつてなく注目された中間選挙、日本時間の今夜、アメリカの東海岸を皮切りに投票が始まりました。」
 アメリカ市民（男性）「今回はじめて中間選挙に投票します。とても重要な選挙だと思ったので投票することにしました。」

アメリカ市民（女性）「トランプ氏は分断を生んでいます。賛成できない点が多くあるので投票にその気持ちを反映させます。」 "

ナレ「選挙戦は最後の最後までトランプ氏を中心に動き続けました。」

報告（佐藤祥太）「中間選挙を前にした最後の選挙集会に臨むトランプ大統領、歓声が鳴り止みません。」

トランプ大統領「民主党は国境を完全に開きたがっている。アメリカに犯罪がなだれ込んでくることになる、民主党はアメリカをギャングと殺し屋たちの聖域にしようとしているんだ。」 "

ナレ「トランプ氏がやり玉に挙げたのは中米から米を目指しているキャラバンと呼ばれる移民の集団です。トランプ陣営はキャラバン批判が票になると見たのか、選挙戦の終盤にはこんなキャンペーン CM まで。」

CM「7000 人の移民キャラバン、メキシコを縦断し国境へ、危険な不法移民は法律は気にしない」

ナレ「不法入国した移民が警察官を殺害した事件を引き合いに移民キャラバンへの恐怖心を煽る内容です。」

CM「侵略は許されない移民キャラバンを止めなければならない。」

ナレ「そして動画の最後には」

CM「キャラバンを止めよ、共和黨員に投票せよ。」

ナレ「テレビでも一旦は放送されたこの CM、殺人犯と移民キャラバンを同一視する内容に人種差別的だとの批判が殺到、トランプ氏よりとされるフォックス・ニュースでさへ放送を取りやめる事態となりました。」 "

"ナレ「選挙戦の最終日、トランプ氏の演説会場には反対派の姿も、」

トランプ大統領「外に出してくれ、出ろ、ママのところへ帰れ。」

ナレ「トランプ政権に信任は与えられるのか、結果は早ければ明日午後判明する見通しです。」

スタジオと中継の間では以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮塔子「ワシントン支局長の岩田記者と中継がつながっています、岩田さん、投票所に向かう人々の出足はいかがですか。」

岩田夏弥「はい、ええこちらはですね、ワシントン近郊のメリーランド州にあります投票所です、時間は朝の 9 時 15 分、外はですね、かなり雨が降っているんですけどもご覧のようにこの列が、実はこの後の方までぐるーっと回って、数十人の方が並んでいるような状況なんです関心の高さ、非常に伺えます、そしてこちら、皆さん続々と投票をされているといった状況です。そして最新ですね議席予測の状況なんですけれども上院は与党共和党が優勢なんです、こちら下院が問題なんです。共和党トランプさんの共和党 194 に対し民主党 203 と言うことでいずれも過半数の 218 には届かない接戦となっています、そしてもう一つ難しいのは期日前投票。前回、見比べましても既に 1000 万票も多くなっている、そんな状況なんですこの 1000 万票が果たしてどこに言っているのかここが非常に読みにくい状況なんです。トランプ大統領はですね、民主党に今回投票したら中米からのキャラバンが入ってきて犯罪が増えるとう権者を脅すような発言を繰り返しているんですが、果たしてこれが共感を呼んだのか反発を呼んだのか、期日前投票の増加が果たしてどちらに有利になっているのかというのは非常に見えにくい状況です。」 "

星浩「岩田さん、下院でもしですね民主党が多数を制した場合、トランプさんは今までの路線を修正して穏健になるのか、それとも更に一層過激になるのか、そのへんの読みはどうでしょうか。」

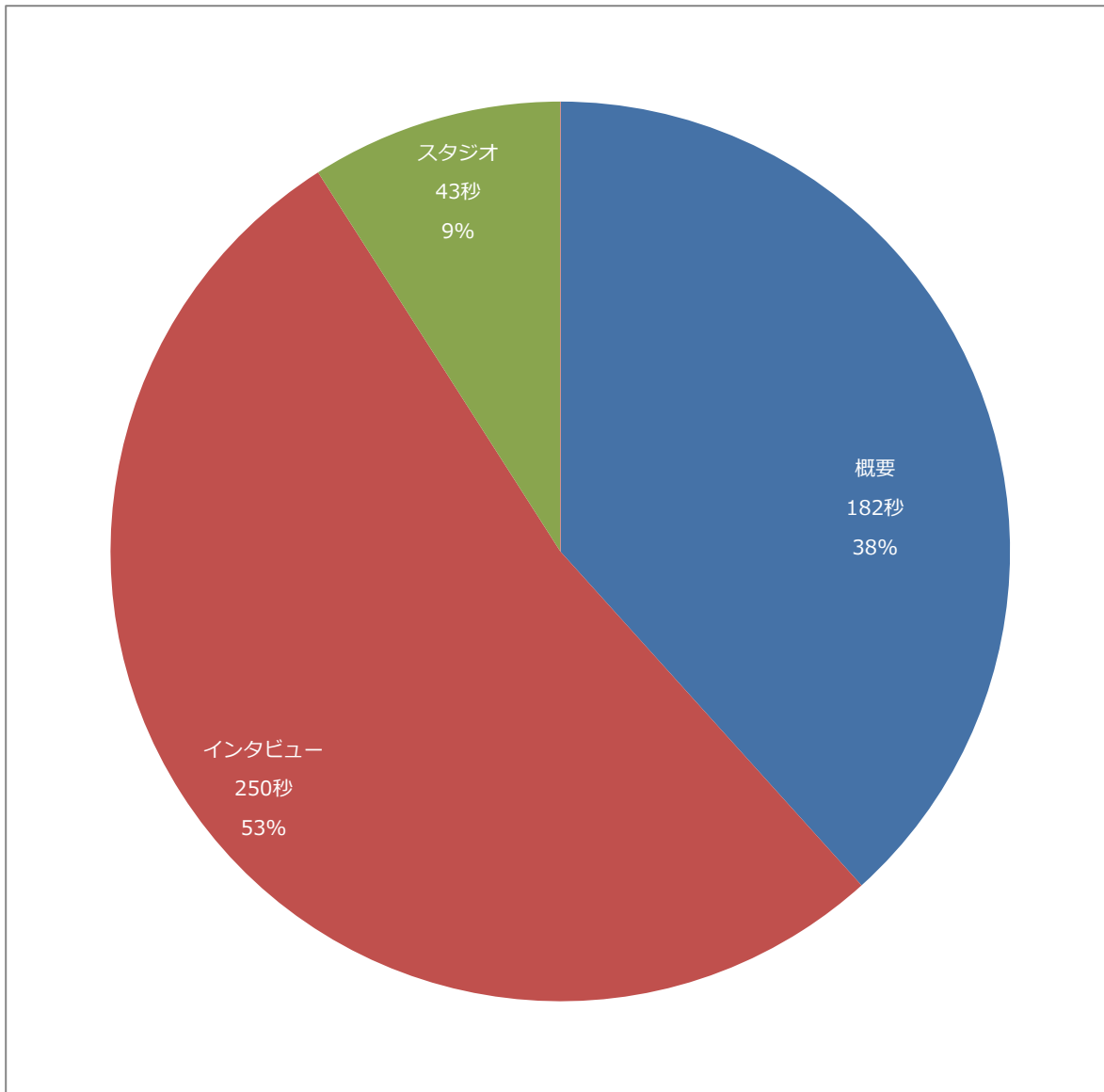
岩田夏弥「そうですね、あの、トランプ大統領の最大の目標は 2020 年の大統領選挙でもう一度勝つということです、したがって仮に今回負けてですね、トランプ大統領がしおらしく反省をしておとなしくなったら今の支持者からそっぽを向かれかねない状況があります、それくらいであればもっと過激な態度をとってあえて敵を作って支持層をガッチリ固めようとするはず。まあそういった意味では今回の結果がどうあってもアメリカ国民はあと二年かけてトランプ氏を評価して、まさにアメリカ国民自身の価値観が問われる大統領選挙につながっていくこととなります。」

放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 星浩が玉城知事を直撃：結論→保留

玉城知事の動きと星浩キャスターのインタビューが取り上げられていた。このトピックについて当てられた時間は秒で、玉城知事の動きなどの概要について焦点の当てられた場面、インタビューの場面、インタビューの VTR

を承けてのスタジオでのやり取りの場面に大別され、それぞれの時間配分及び比率は以下の通りであった。



玉城知事の動きについては以下に朱記したように報じられた。

ナレ「今日夕方、総理官邸を訪れ菅官房長官と面談した沖縄県の玉城デニー知事、辺野古移設工事を再開した政府に対話による解決を求めたのです。」

玉城デニー「私の立場は変わりません、辺野古新基地建設は反対。官房長官の方からは国は普天間の移設先としての辺野古の基地を進めるということでそれぞれの立場はそれぞれに、それは変わらないということの話がありました。」

ナレ「移設を巡る両者の主張は平行線のまま、玉城知事はこう持ちかけたといいます。」

玉城知事「このまま司法の解決に進むのではなくやはり対話によって解決ができる、まあせめて一ヶ月間、その話をする時間、場を設けていただきたいということで申し上げたところ官房長官からその話し合いの場を作ることについてはやりましょうということになりました。」

ナレ「国と沖縄県は一箇月の期間を設けて集中的に協議をすることで合意、杉田官房副長官と謝花副知事を中心に今月末まで行うということです。」

ナレ「玉城氏は任期途中でなくなった翁長善知事の意味を継ぎへの恋説反対を掲げて過去最多の得票数で当選、国は翁長前知事が下した辺野古沖の埋め立て承認の撤回を承け工事を中断していましたが、玉城知事就任後一ヶ月たらずで再開しました。」

インタビューは以下に朱記したものが取り上げられていた。

星浩「話し合いということであれば、工事をとりあえず中断してというのがね、沖縄のと要望なんでしょうが、そこは今回見逃す、ということですか。」

玉城知事「はい、あの、まあ中断をして一ヶ月競技をするというのはどうですか、と一番最初に申し上げたら、いや工事は進めます、ということですのでわかりました、では進めるさなかであっても話し合うというのはいかがですか、と問いかけたら、いやそれは良いですよ、ということですので、では話し合いをする対話の場を作ろうということにしました。」

星浩「知事からすると、まあ一歩というよりは0.1歩くらいの前進というか、そんな感じでしょうか。」

玉城知事「まあ、半歩ですね、ははっ。」

ナレ「国との対話を半歩前進と評価した玉城知事、しかし政府は辺野古が唯一の解決策という姿勢を崩しておらず、協議は平行線をたどる可能性があります。」

"星浩「基地建設阻止に向けて、その、知事はどんなこれから戦略を練っていくというお考えですか。」

玉城知事「あの非常に厳しい状況であるということは、変わらないと思います。法的な手法そのものは我々もきちんと取らなければならない、これは当然だと思います。」

ナレ「玉城知事は法廷闘争もじさないか前ですが司法判断による解決は望んでいないといえます。」

玉城知事「やはり、国民の声ですね、例えばかねてから私達は言ってきましたけれど沖縄に民主主義はあるのか、と。辺野古は反対だという民意は明らかになったわけで、国民皆さんもおかしいと、なんでみんなは黙ってないって言うのに強行して作ることができるの、このお金はどこから出ているの、私達の税金でしょ、じゃあ私達は反対しなくていいの、っていうその疑問や思いにつながっていかねばいけないと思います。」

ナレ「玉城知事は11日からアメリカに行き沖縄の民意をアメリカ政府や議会に訴えていく予定です。」

玉城知事「1972年にアメリカから施政権が移った沖縄における民主主義と民主主義では違いがあるんですか、こういう沖縄の状況は皆さんの国では民主主義の手法語って認められますか、ということをお前はしっかり言っていきたいと思うんですね。」

星浩「お父さん、海兵隊ということでそういう点もそのアメリカに訴えるポイントになるんですかね。」

玉城知事「まあ2つの国のルーツをん持つ私が県知事になりその2つの国の矛盾を押し付けられている、その声をアメリカに届けに行くということは非常に私は重要だと思います。」

ナレ「また、沖縄県では市民団体の署名活動により辺野古、基地建設の是非を問う県民投票が来年の4月末までに実施されることが決まっていますがこの県民投票について玉城知事は

"玉城知事「自分の中にある民主主義として行動する、というそのことこそが本当に思い大切な意味があるんだと思います。」

星浩「法的拘束力はないんだというような反論をするんでしょうけど。」

玉城知事「この民主主義にどのように相對していくかっていう国の姿勢そのものもとかけることになると思いますが、出される結果は非常に民主主義の国家にとって大きい重たいものになると思います。」

星浩「玉城知事のこれからの一番手強い敵はおそらくその沖縄の方々の諦めの気持ちだと思うんですね。」

玉城知事「私は諦めるということをもともと考えておりませんし、辺野古でがんばっている方々は勝つことは諦めないこと、これがお互いの合言葉になっています、勝つことは諦めない、諦めたら負けるんですね。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されていた。

雨宮塔子「国との対話についてはね、半歩前進と評価していますが、その間も工事は止まらないわけで、こう、知事の熱意はね、辺野古阻止の熱意はひしひし感じるんですがやっぱり状況は厳しいんでしょうか。」

星浩「厳しいですよ。ただあの知事選のときも取材しましたけど圧倒的な県民の多数の支持を得たので追い風を承けてうまくいく感じはしますね、玉城知事が持っているカードは2つですよ。一つはアメリカに直接行ってアメリカ世論に訴えかける、最近アメリカの新聞も書いてますので、それともう一つは県民投票ですよ、これをどういうふうに使って日本国内の世論を味方につけていくか、まさにこれから手腕が試される場所ですよ。」

今回は新知事就任後に新たな動きがあったとのことで、インタビューが行われていた。沖縄の問題については県のみではなく、各市によっても事情が異なるだろう。こうした沖縄問題の取り上げ方が放送法上問題があるかないかということについては今後のインタビュー特集などがどう組まれるかという点も見て判断する必要があるだろう。

・自民党と国民民主党幹部の会食：結論→特に問題なし

今夜、都内のホテルで自民党と野党国民民主党の幹部らが会談したこと、関係者によると会談には当初は国民民主党側から玉木代表や平野幹事長らも出席の予定だったが直前になって突然取りやめたためこれに怒った自民党側も二階幹事長らの出席を見送ったということ、自民党としては憲法改正の議論に前向きな国民民主党に対し、協力を呼びかける狙いがあったと見られるが、国民民主党内からは執行部に対し「自民党の補完勢力になるつもりか」といった批判が出るなど波紋が広がっているとことが報じられた。また、自民党の林幹雄幹事長代理の「雑談ですよ。」というコメントが取り上げられていた。

このトピックについて当てられた時間は44秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・韓国徴用工訴訟：結論→特に問題なし

韓国の最高裁が日本企業に対して元徴用工への賠償を命じた判決をめぐり、安倍総理や河野外務大臣の発言を念頭に韓国の国民感情を刺激する発言とした上で、日韓関係の未来志向発展に役立たないことを明確に認識しなければならぬ、と韓国外務省がコメントを発表したことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は25秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・片山大臣の報告書に記載漏れ：結論→特に問題なし

片山さつき地方創生担当大臣が代表を務める政治団体が政治資金収支報告書に少なくとも120万円の記載漏れがあったことが新たにわかり一部は既に訂正したとのこと、片山大臣の政治団体は先月31日にも報告書を訂正

しているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 25 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・ 星浩が玉城知事を直撃

玉城知事と星キャスターの以下に朱記したやり取りについて、

玉城知事「では進めるさなかであっても話し合うというのはいかがですか、と問いかけたら、いやそれは良いですよ、ということですので、では話し合いをする対話の場を作ろうということにしました。」

星浩「知事からすると、まあ一歩というよりは 0.1 歩くらいの前進というか、そんな感じでしょうか。」

玉城知事「まあ、半歩ですね、ははっ。」

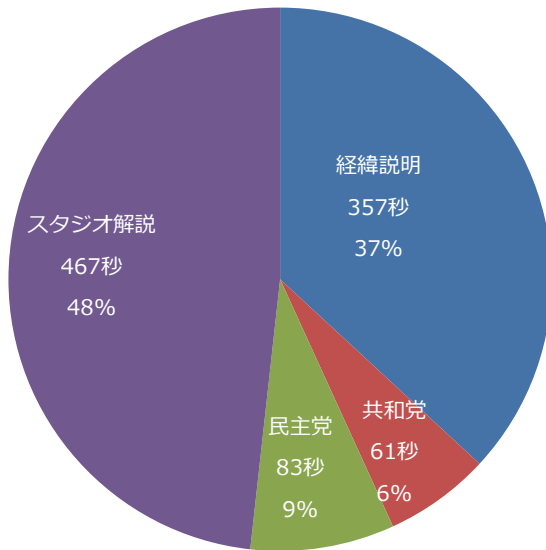
星キャスターが低めの評価を出すのに対し、玉城知事がそれよりは高い自己採点を返していた点が印象的だった。返しとしてうまいなと感じた。

・ 韓国徴用工訴訟

この問題を巡って、日韓関係という側面ばかり取り上げられているが、この問題に直面している企業の株式を保有している株主と韓国、ひいてはグローバル資本市場の中での韓国という問題は取り上げられないのだろうか、やや疑問であった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2018年11月7日
<p>出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙</p> <p>【ゲスト】藤原帰一（東京大学教授）</p>		
<p>検証テーマ：米・中間選挙、広がるポピュリズム、外国人の保険適用、徴用工判決、東海第二原発の運転延長 片山議員への追求、補正予算案成立</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米・中間選挙 ・広がるポピュリズム ・外国人の保険適用 ・徴用工判決 ・新語・流行語大賞ノミネート発表 ・片山議員への追求 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> ・米・中間選挙 ・外国人の保険適用 ・東海第二原発の運転延長 ・日吉フミコさん死去 ・補正予算案成立 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米・中間選挙→結果：放送法第四条第一項第二号「政治的に公平であること」に違反。 <p>今回はアメリカの中間選挙の結果について報じられたと同時に、その結果をどう分析するかについて東京大学の藤原帰一教授を招いてスタジオでの解説が行われた。本トピックに当てられた報道時間は968秒で、経緯説明・共和党・民主党・スタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



スタジオ解説の内容は以下の通り。

皆川「ここでもう一度これまでに判明している議席数を見てみましょう。まずは下院です。選挙前の議席ではトランプ大統領の共和党が 235 と民主党を 40 位上回っていたんですが、今回は民主党が過半数を超えて逆転しました。一方の上院を見てみましょう。こちらは 100 議席のうち、今回選挙で争われるのは 35 議席だけなんです。改選されない議席については共和党がすでに 42 議席持っていますので、そもそも民主党が逆転するというのは難しい状況でした。ですから、結果はやはり共和党が過半数を維持しました。ただ、改選される 35 議席だけで見てみますとまだ確定していない 5 議席を残しまして、民主党はすでに 21 議席を獲得しています。また、事前の予想で接戦と予想されていた 46 議席のうち、今結果が判明している選挙区では民主党が 15 議席獲得しています。さらに、共和党が優勢だと言われていた選挙区でも民主党が 4 議席奪いました。結果としてトランプ大統領の共和党が下院で過半数を失った形です。ここでワシントン支局にいる岩田記者に聞きます。トランプ政権への審判となった今回の結果、岩田さんはどのように分析していますか。」

岩田記者「はい。こちらでは様々な調査の結果も出てきているところなんですけれども、こちらをご覧くださいませでしょうか。CNN の出口調査によりますと、今回初めて投票に行ったという人の中で、民主党に入れたという人は 6 割にのぼったということなんです。これまであまり政治に関心を持っていなかったけれども、トランプ大統領は問題だと思って投票に行ったという人が一定程度いた事を示しています。ただ、上院では共和党が議席を増やしたことから見て取れる通り、アメリカ社会全体がトランプ大統領に NO を突きつける状況には全くなっていない。深い分断が続いているということだと思います。」

駒田「一方で、岩田さん。下院では野党民主党が過半数を取りましたよね。これでトランプ政権に取る対抗手段というのは大きく増えると思うのですが、どうでしょうか。」

岩田記者「そうですね。今後下院の委員会は民主党の方針で運営していく事ができるという状態になりますので、大統領に関する様々な疑惑、あるいは問題についてあるいは議会の場で突き詰めることができるようになります。」

また、大統領を辞めさせる弾劾の手続きを始めることができますようになります。弾劾には上院の三分の二が必要ですので、実際に成立させるのは難しいわけですが、様々な角度からトランプ大統領への追求を強めていくことになるはず。対するトランプ氏はこの追求を攻撃と受け止めて激しく逆襲し、これまで以上に民主党との対立を深めていくことになりそうです。」

雨宮「ここからは東京大学の藤原帰一教授に参加していただきます。よろしくおねがいします。」

星「まずこれが今回の選挙結果ですけれども、藤原さんこの結果はトランプ大統領にとっては敗北なのかそうじゃないのか、そのへんからまず伺いましょうか。」

藤原「民主党の勝利と言って良いんじゃないかと思えます。8年ぶりに下院の多数派になったということが大きい。あと、州知事選もずいぶん変わったんですね。ただ、中間選挙ですから、与党が苦しいのはある意味当たり前。2013年に63議席を民主党が失ったときに比べれば、そこまでの波にはなっていない。上院の過半数も維持していますから。民主党が勝ったけれども、共和党が踏みとどまったということですか。」

雨宮「それから分断についても伺いたいんですが、アメリカ世界で分断についてVTRを御覧ください。」

ナレーター「選挙戦の終盤、象徴的なシーンが。」

トランプ「犯罪者も（移民の）キャラバンもいらぬ。『（壁を作れ）の歓声』」

ナレーター「最後の集会にはトランプ氏寄りとされるFOXニュースの名物司会者が登場。」

ショーン・ハニティ氏（ニュース司会者）「ところで後ろにいるやつらはフェイクニュースだ。」

ナレーター「選挙戦では分断と対立が露わになりました。一方で。」

テイラー・スウィフト「今求められるのは指導力。恐怖をあおる極論はいらぬ。」

ナレーター「歌手のテイラー・スウィフト氏がトランプ大統領を批判。アンチトランプの勢力はアメリカに新たな変化をもたらすのでしょうか。」

星「トランプさんの選挙戦術について伺いたいんですが、60%、70%を取るというよりも、自分の足元の4割ぐらいというところにターゲットを絞って、移民キャラバンの批判とか民主党への批判を強めていたような気がするんですが。それはどう見えていますか。」

藤原「おっしゃる通り、これは自分の支持基盤に訴えるという戦略です。真ん中を取ろうというよりは、自分の基盤を取ろうという戦略です。基盤はどこかというところ赤く塗られているのが共和党の獲得議席のところ。真っ赤ですよ。ただ、議席は青のほうが多い。これは人口が多いところなんですね。青いところと赤いところ、中西部と南部にかけての農業を中心としたところと大都市、はっきりと2つにアメリカは別れちゃったのです。別れちゃったところで、自分の基盤、赤いところに訴えるということです。」

星「さらにこういう分析ですね。」

藤原「もう一度出口調査の結果を見ると、ホワイト、白人の支持が強く、男女でいうと男性の支持が高い。年齢で見ると中高年の支持が強く、逆にいうと若年層が民主党側ですね。所得でいうとむしろ富裕層のほうが共和党の支持が高いということがわかります。2つにすっぱり別れています。」

駒田「もう一つすっぱり別れているデータがあるんですが、この出口調査はトランプ政権の移民政策の評価なんですけれども、強行すぎると思っている人は民主党に投票した人が90%です。さらに強硬にすべきだと思っている人は共和党に86%が入れているというわけなんです。これも大きく別れました。」

藤原「こういう数字って滅多に見ることはないんです。やはり移民が大きな分かれ目になっていることは分かり

ます。民主党の基盤はもともと白人ではない人が沢山いるわけで、アフリカ系からヒスパニック、それからアジア系。それに対して共和党の基盤は白人が多いんですね。そこで、移民政策が一番の分かれ目になりやすいところなんです。」

星「さて、トランプ大統領の今後なんですけれども、民主党が下院で過半数を取ったということでどういうふうに出てくるか、強硬に行くのか、少し路線を修正して穏健になるのか。そのへんはどう見えていますか。」

藤原「穏健というよりはむしろ強硬でしょうね。何しろ敵との対立を煽ることで支持を固めているわけですから。先程出てきていましたが、フェイクニュース、これは要するに批判的なメディアが偽物だと言うわけです。そういったタイプの戦い、民主党の基盤との戦いそういったものを先鋭化することで、分断を深めていく方向になると思いますね。」

星「一方で今回、女性議員が増えました。Me Too 運動。マイノリティ、イスラム系の候補者というのもありまして、アメリカ社会の多様性というところも出てきたなという傾向はありますよね。そのへんはどう見られていますか。」

藤原「その点は民主党に特に顕著に見られます。もともと女性の議員が民主党は比較的多いんですけれども、今回立候補者の数も膨大になってきて、若い女性の候補、先程出てきたコルテさん、などが登場してきた。民主党の世界、ブルーの世界から見ると、Me Too 運動とかハラスメントはとんでもないとかそういう方向に行くわけです。そういう意味でダイバーシティ、多様性の民主党、そういう流れです。」

全体的に上院について取り上げられてはいないが、取り上げられている部分を取り上げると、皆川キャスターが「一方の上院を見てみましょう。こちらは 100 議席のうち、今回選挙で争われるのは 35 議席だけなんです。改選されない議席については共和党がすでに 42 議席持っていますので、そもそも民主党が逆転するというのは難しい状況でした。ですから、結果はやはり共和党が過半数を維持しました。」と発言している。この発言は今回の中間選挙の結果を分析するにあたって、上院の結果は考える必要が無いかのような印象を与える。上院の選挙システムの弊害として下院と比較して民意を反映しにくいという点があるのは確かだが、上院の結果を軽視する理由にはならない。その中でこの発言は、視聴者に対して誤解を与える意味で放送法第四条の見地から問題ありと言わざるを得ない。

今トピックは放送法第四条第二項第二号「政治的に公平であること」に違反している。

- ・広がるポピュリズム→結果：放送法第四条の見地から問題なし。

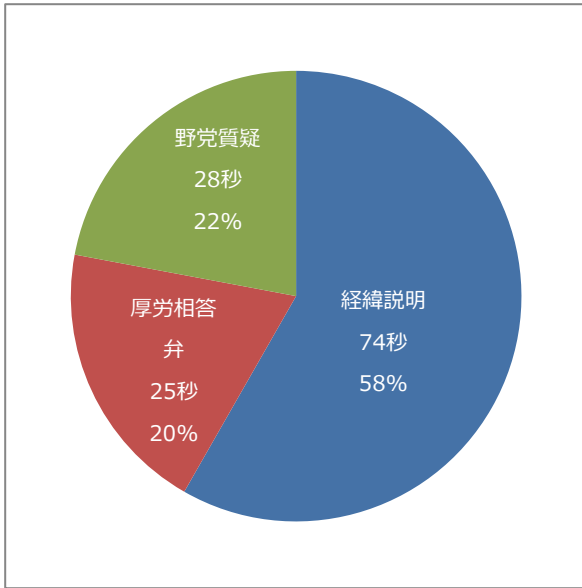
今回は、世界で広がるポピュリズムの流れとアメリカの中間選挙を重ねる形で紹介された。全トピックの流れを汲み、引き続き東京大学の藤原一教授が解説役としてスタジオで解説を行った。今トピックに当てられた報道時間は 293 秒で、経緯説明とスタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・外国人の保険適用→結果：放送法第四女の見地から問題なし。

今回は国会で議論されている入管難民法改正案をめぐる議論について、外国人労働者の配偶者に対して被保険者の適用がなされるか、またその範囲についての議論の様子が伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 127 秒で、経緯説明・厚労相答弁・野党質疑に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通

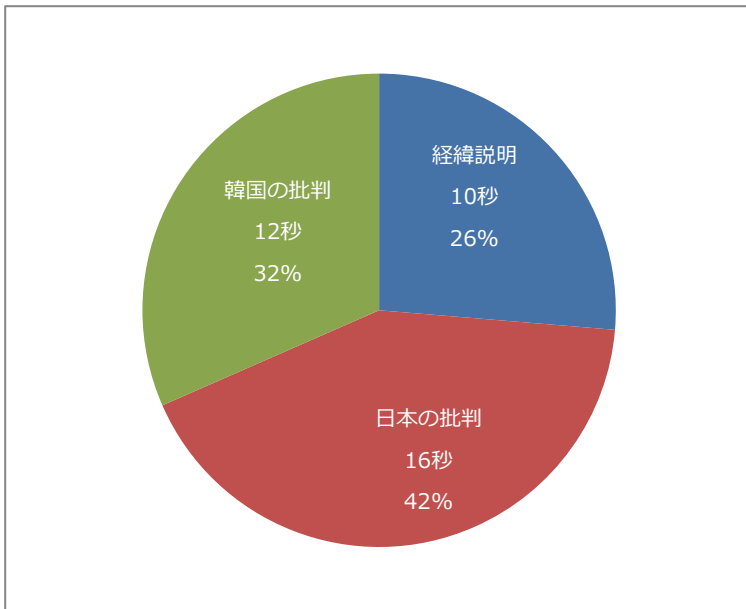
り。



厚労相答弁と野党質疑を比較すると、時間的に非常に公平な時間配分であることは非常に評価できる。今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・徴用工判決→結果：放送法第四条第二項第二号「政治的に公平であること」に違反の可能性あり。

今回は韓国の司法府が元徴用工に対して日本企業が賠償をするように命じた問題について、日本政府と韓国政府が対立していることが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は30秒で、経緯説明・日本の批判・韓国の批判に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道内容は以下の通り。

駒田「韓国の最高裁が日本企業に賠償を命じた元徴用工の判決をめぐり、日韓の応酬が続いています。」

菅官房長官「日韓請求権協定は司法府も含めて当事国全体を拘束するものであり、大法院の判決が確定した時点で、韓国による国際法違反の状態が生じていると考えます。」

駒田「これに対し、韓国のイ・ナギョン首相は今夜、日本政府の指導者が過激な発言を続けているとして、発言は妥当でもなく、賢明でもないと批判しました。」

日本の批判がやや長い点が気になる。全体の半分近くを菅長官の発言のみで占めている点が放送法第四条第二項第二号「政治的に公平であること」に違反の可能性がある。

・片山議員への追求→結果：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は片山議員が一昨年立てた看板について野党が追求していることが報道された。今トピックに当てられた報道時間は 24 秒で、経緯説明のみに焦点が当てられた内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・東海第二原発の運転延長→結果：放送法第四条の見地から問題なし。

原子力規制委員会は首都圏で唯一の原子力発電所、東海第二原発について最長で 20 年の運転延長を認めたことが報じられるとともに、実際に再稼働するには地元を含む周辺 6 つの自治体の同意が必要で既に一部の自治体は反対を表明しているとのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 22 秒で、今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・補正予算案成立→結果：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は参院において補正予算案が可決・成立したことが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 20 秒で、経緯説明のみに焦点が当てられた内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：11月8日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：ロサンゼルス銃乱射事件、米中間選挙、「イッテ Q！」に疑惑報道、 国会議員の元秘書逮捕、米朝首脳会談、柏崎刈羽原発の火災		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ロサンゼルス銃乱射事件 ・米中間選挙 ・「イッテ Q！」に疑惑報道 ・絵本作家かこさとしさん 最後の作品が発売 ・国会議員の元秘書逮捕 ・米朝首脳会談の日程 ・柏崎刈羽原発の火災 ・スポーツ報道 ・23today <ul style="list-style-type: none"> バーで銃乱射 12人死亡 トランプ政権の司法長官辞任 東芝、5年で7000人削減 イギリスの原発事業から撤退 練馬区都営団地で火災 日産自動車、200億円の申告漏れか ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・ロサンゼルス銃乱射事件：結論→特に問題なし ロサンゼルス銃乱射事件について報じられた。 現地からの報道は以下に朱記したように取り上げられていた。 <p style="color: red;">ナレーション「事件現場には、多くの警察車両などが駆けつけ、その周辺では、人々が身を寄せ合っていました。武装した警察官の姿も見えます」</p> <p style="color: red;">松本年弘（現地リポーター）「またアメリカで銃の乱射事件が起きました。現場はあちらの奥にある地元で人気のバーで、多くの警察車両が集まり、警戒にあたっています」</p> <p style="color: red;">ナレーション「カリフォルニア州ロサンゼルス近郊の、サウザンドオークス。現地時間7日午後11時半ごろ、男がバーで銃を乱射しました。被害にあったのは、その場にいた多くの若者たちでした」</p> <p style="color: red;">市民「何発かの銃声を聞いた。私たちはパニックになって辺りを逃げ回った」</p> <p style="color: red;">市民「何発もの銃声が聞こえた。たぶん5～6発。みんな周囲を見回した。折り重なって地面に倒れた」</p> <p style="color: red;">ナレーション「これは、現場となったバーのホームページ。店内で踊る多くの若者の姿が映し出されていました」</p> <p style="color: red;">市民「出血の続いている人を4人で搬送にあたっていた。左腕を撃たれていた。」</p>		

ナレーション「バーでは、毎週水曜日に近隣の大学に通う学生が集って、パーティーを開催。事件が起きた当時間も、数百人が集まっていたということです」

市民「野球帽をかぶり全身黒ずくめ、背の高い白人の男だった。

ナレーション「黒ずくめの男は、店内で発煙筒のようなものを投げた後、銃を南十発も撃ち続けたと言います。地元警察は会見し、これまでに、警察官を含めて 12 人が死亡したと発表。このほかに、10 人余りがけがをしたということです。銃を乱射した男は、店内で死亡しているのが見つかりました。男の動機については、分かっていません。」

スタジオと現地の中継では以下に朱記したやり取りが繰り返されていた。

雨宮「中間選挙が終わったばかりのアメリカで起きた銃乱射事件。現場には松本記者がいます。松本さん」

松本「はい。現場は間もなく夜明けを迎えます。この辺りはロサンゼルス中心部から西に車で 40 分ほどの閑静な住宅街で、比較的裕福な家庭が多く暮らし、全米で最も安全な街の一つと言われています。警察は今のところ容疑者の男の情報を明らかにしていませんが、地元紙ロサンゼルス・タイムズは、男は 29 歳で、母親の車を運転してバーを訪れ、現場の近郊で買った拳銃で犯行に及んだと伝えています。今のところテロとの関連性については分かっていません。また、トランプ大統領は先ほど、銃乱射事件の被害者やその家族に追悼のコメントを出しています。事件前日の中間選挙では、銃規制も大きな争点となっていました。全米屈指の安全な街で起きた今回の銃乱射事件は、今後さらに波紋を広げそうです」

このトピックについて当てられた時間は秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・米中間選挙：結論→特に問題なし

中間選挙後のアメリカについて報じられた。

VTR では以下に朱記した部分を取り上げられていた。

ナレーション「中間選挙から一夜明け、会見に臨んだトランプ大統領」

トランプ（米大統領）「きのうは意義深いすばらしい日だった。共和党は上院で議席を上乗せし、下院でも予測を大きく上回り、歴史に逆らった。」

ナレーション「冒頭、選挙結果に満足していることを強調。しかし、結果は、決して勝利といえるものではありませんでした。現時点で、上院は、トランプ氏の共和党が 1 議席上積みして過半数を維持したものの、下院は、選挙前からおよそ 30 議席失う見通しで、過半数を割り込んだのです。民主党のオバマ前大統領は、喜びのコメントを出しました」

オバマ（米前大統領）「我々に必要な変革は、一度の選挙だけではもたらされませんが、これはスタートです。昨日全国で投票した皆さんがスタートさせたのです」

ナレーション「マイケル・ムーア監督も」

ムーア（映画監督）「勝利だ！国民の大多数はトランプと彼が訴えること全てを拒否した」

ナレーション「それでも、トランプ大統領はあくまで強気」

トランプ「みんな私を好きだと分かった。私のやっていることが好きなんだろう」

記者「あなたは”勝利”が好きだが、昨夜は完全な勝利ではなかった

トランプ「正直言ってほぼ完全勝利だったと思う」

ナレーション「質疑応答に入ると」

トランプ「ジョン、先日は公平なインタビューをしてくれたので質問を聞くよ」

ナレーション「最初は機嫌が良かったものの、ある記者の質問になると、態度を一変させます。トランプ大統領の天敵、CNNのジム・アコスタ記者です。過去にはこんなやり取りも。」

CNN「質問をさせてください」

トランプ「君には質問させない。フェイクニュースだからだ」

CNN「中間選挙終盤での発言について……」

トランプ「ほらきたぞ」

ナレーション「アコスタ記者は、トランプ大統領が侵略者と呼ぶ移民集団、キャラバンについて質問。」

CNN「なぜ彼らをそう呼ぶ？」

トランプ「侵略だと考えているからだ 君とは意見が違う。 正直国の運営は私に任せて君は CNN を運営すべきだ。うまくいけばもっと視聴率が上がる」

CNN「もう一問…」

トランプ「もうたくさんだ もうよせ 十分だ」

ナレーション「さらに、ロシア疑惑について聞こうとすると」

CNN「ロシア疑惑で弾劾される懸念は？」

トランプ「ロシア疑惑について懸念はない。あれはでっち上げだからだ。もういい、マイクを置け。CNNは君を雇っていることを恥じるべきだ。無礼で酷い人間だ。CNNで働くべきではない」

ナレーション「次に質問に立った別のテレビ局の記者は、アコスタ記者を擁護します」

NBC 記者「(CNNの) 事務を擁護したいのですが彼は勤勉な記者で…」

トランプ「君のところもあまり好きじゃない」

ナレーション「再びアコスタ記者が立ち上がると」

トランプ「座ってくれ。CNNは多くのフェイクニュースを報じているが君たちは「国民の敵」だ」

ナレーション「その後、ホワイトハウスはアコスタ記者の入構許可証を取り上げると発表。理由として、マイクを取られそうになった際に、アコスタ記者が女性の腕と接触したことをあげています」

サンダース報道官「トランプ大統領は報道の自由を尊重し厳しい質問も歓迎するがこの行為は許容できない」

ナレーション「CNNは、民主主義を脅かす前代未聞の決定だとの声明を出し、糾弾しています。ニューヨーク・タイムズもホワイトハウスの対応を「核レベルだ」と批判しています。上院と下院でねじれ状態となったアメリカ議会。この影響が日本に及ぶ可能性も」

矢嶋康次「議会がねじれたことで法案を通していくのが現実的には難しくなっていくと思います。自分の大統領の権限でできる外交や通商の分やにかなり政策をシフトしてくるんじゃないかな」

ナレーション「トランプ大統領が議会の承認を必要としない通商政策に力を置くことで、これまで以上に自国の利益を追求していくのではというのです」

トランプ「日本はアメリカと公正な貿易をしていない。低関税で何百万台も車を輸出してくるが、アメリカの車を買わない。それならば日本の車にも巨額の関税がかかることになる」

ナレーション「車の関税をやり玉にあげました。日本の自動車メーカーは…」

軽部博「日産自動車は自由貿易をサポートというか推奨しているので、なるべく自由にいろいろなことができる体制になると良いなという風に思っています」

ナレーション「都内で開かれた中小企業の展示会。ここでもトランプ氏の次の一手に不安の声が」

佐藤公一「関税の政策でうちのレンズを輸出しづらくなることが出てくると影響は少なくないと思います」

神山孝敏「ころころトランプ大統領が政策を変えているところがあるのでそこで左右されるのは最終的には我々みたいところ」

ナレーション「トランプ大統領の出方次第では、日本経済に大きな影響が出る可能性があります」

スタジオでは以下に手記したやり取りが取り上げられた。

雨宮「トランプ大統領ですが、VTRにあった記者会見のあと、Twitter でセッションズ司法長官の辞任を発表しました。事実上解任した形ですが星さんなぜこのタイミング解任なさったのですか」

星「そうですね、セッションズさんというのはトランプさんの大統領選挙を応援した数少ない上院議員なんですね。その論功で司法長官になったのですけども、その後ロシア疑惑に自分は介入しないということを言い続けたんでトランプさんからするともう介入すべきだという考えでしたので、非常に怒りが募っていたんでしょう。しかしこれは事実上の捜査介入ですので、民主党の方からは相当反発出たでしょうね」

駒田「しかしトランプ政権になってから一体何人の閣僚が辞めさせられたのか覚えきれませんよね」

星「今ワシントンではトランプさんはマティス国防長官も解任するんじゃないかという話でもちきりになっているんですね。マティスさんは軍人出身なんですけども穏健派で北朝鮮との対話も穏健にすべきだと言ってたんですけどもこれを解任するとまたトランプさんの政策ががらっと過激になってくる可能性もありますよね」

放送法上は特に問題は見られなかった。

・「イッテ Q！」に疑惑報道：結論→特に問題なし

日本テレビ系の人気バラエティ番組にヤラセの疑いがあると今日発売の週刊文春が報じた、一方の日本テレビはヤラセについて否定しているとのことが伝えられた。また日本テレビの「この会場ではじめての開催であった橋祭りを放送では毎年行われているかのような誤解を招く表現となっております、真摯に反省すべきだと考えております。」というコメントが取り上げられたほか、現地ロケをコーディネートした会社が「JNN の取材に対し、この地域で元々行われている祭りではないとする一方ででっち上げやヤラセと言われるのは心外だ」などとコメントしているとのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 170 秒で放送法上特に問題は見られなかった。

・国会議員元秘書逮捕：結論→特に問題なし

八年前宅配業者を装った男が住人に刃物を突きつけ現金一億円を奪った事件で強盗障害の疑いで逮捕されたのは元国会議員秘書の上倉崇敬容疑者と西谷真弓容疑者であること、警察によると上倉容疑者らは 2010 年 9 月、京都市左京区の不動産会社役員の家宅に宅配業者を装って訪問中にいた女性には者を突きつけるなどして女性の両手を縛るなどして現金一億円を奪って逃げた疑いが持たれているとのこと、上倉容疑者は当時二之湯智参議院議員の公設秘書を務めていたこと、上倉容疑者は事件翌年の 2011 年頃に二之湯議員の秘書を辞めその後佐藤ゆかり衆議院議員の秘書をしていた時期もあるということ、上倉容疑者は一昨年島根県で起きた強盗傷害事件で

実刑判決を受け服役していて先月別の事件の強要未遂容疑でも京都府警に逮捕起訴されているとことが報じられた。

また、二之湯智参院議員の「驚いていますね。後半ですね、やっぱり私生活の乱れがあって、いろんな噂も聞きますから、だからやめてもらったんです、よくね、京都のいわゆるその歓楽街で遊んでいると、まあそういうことを聞きましたからね、でだから秘書の給料でそんな事ができるわけがないでしょう。」というコメントが取り上げられていた。このトピックについては当てられた時間は 115 秒で、放送法上特に問題は見られなかった。

・米朝首脳会談：結論→特に問題なし

アメリカのトランプ大統領は北朝鮮との 2 回目の首脳会談について来年早々に行われるとの見通しをあきらかにした一方で 8 日に行われる予定だったポンペオ国務長官と金英哲朝鮮労働党副委員長の会談は直前で延期されたことについて、トランプ氏は、他の予定と重なったからだと説明しているとのことが伝えられた。また、スタジオでは星キャスターの「トランプさんにとってみると米朝首脳会談の意味が変わってきましたね。中間選挙に向けて俺はこんなに指導力があるんだぞと見せつける場だったんですけどもそれがなくなって今度は 2 年後の大統領選挙に向けてアピールしようというのですがちょっと戦略を練り直しているでしょうね。一方北朝鮮はいくつか妥協案を出したのに全然制裁解除が進みませんからちょっと失望感ですよ。だから日本政府の中でももしかすると北朝鮮もう一度強硬路線に転じるんじゃないかと心配も出てますね」というコメントがされていた。このトピックについては当てられた時間は 69 秒で、放送法上特に問題は見られなかった。

・柏崎刈羽原発の火災：結論→特に問題なし

新潟県にある東京電力柏崎刈羽原発で今月 1 日に非常用の電気ケーブルが焼けた火災について火元の情報が正しく伝わらず、消防の対応がおおよそ 1 時間半にわたり遅れていたことが分かったとのこと、この問題について東京電力は今日の会見で火元の情報は午前 7 時前には消防に伝えたと釈明したこと、これに対し消防側は午前 8 時半ごろに正しい火元の連絡を受けたと説明し、食い違いを見せているとのことが伝えられた。

このトピックについては当てられた時間は 35 秒で、放送法上特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・「イッテ Q！」に疑惑報道

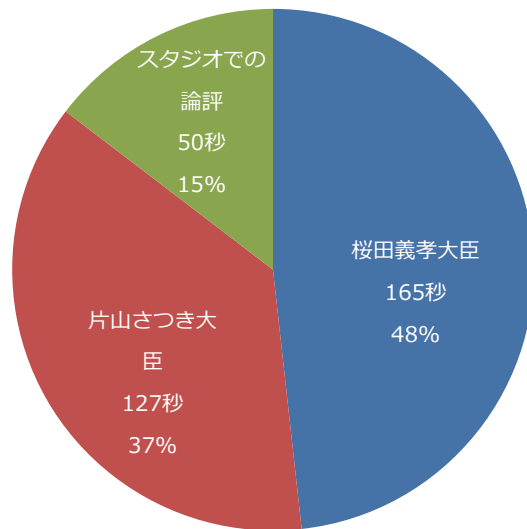
同業者の不祥事について取り上げたトピックであったが、今後も、同業者の不祥事についても忌憚なくしがらみのない姿勢で報じることを期待している。

・国会議員元秘書逮捕

事件発生から 8 年間も逮捕されなかったということに驚きを感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年11月9日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：資質問われる大臣たち安倍政権に影響も、平成最後の園遊会、日本の難民認定の高い壁 辺野古移設で国と沖縄県が初協議、会計検査院が検査結果を安倍総理に報告		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資質問われる大臣たち安倍政権に影響も ・平成最後の園遊会 ・日本の難民認定の高い壁 ・ロサンゼルスで銃乱射事件 ・パーキンソン病にIPS細胞京大が治験 ・大阪なおみ選手が父の祖国で熱烈歓迎 ・辺野古移設で国と沖縄県が初協議 ・スポーツ情報 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 平成最後の園遊会 新幹線が緊急停止 ソウルでビル火災7人死亡 会計検査院が検査結果を安倍総理に報告 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資質問われる大臣たち安倍政権に影響も→放送法第四条第一項二号に照らし合わせると不十分 <p>桜田義孝大臣の言い間違いや片山大臣の口利き疑惑を通じて大臣の資質について問うという内容の報道であった。同報道の放送時間は342秒で論点は上記の桜田大臣の言い間違い、片山大臣の口利き疑惑や著書の看板問題そしてスタジオでの論評の3点に分けられた。それぞれの論点についてスポットが当てられていた時間、及び比率は以下の通りだった。</p>		



桜田大臣の言い間違いについては桜田大臣が記者からの言い間違いについての質問に対して「記者からレンボウ議員の質疑に関して質問があり」と立憲民主党の蓮舫議員の名前を改めて言い間違いをしている様子が報道されていた。また先の発言を立憲民主党の辻本清美国対委員長に記者から伝えられると辻本議員は「また言ったの？」と笑いながら下をうつむいていた。

片山さつき大臣については男性税理士が SNS やブログで片山氏の海外出張に同行していたり、片山氏の代理で会合に出席したことを公表していると野党が主張している様子が紹介され立憲民主党会派の今井雅人衆院議員が「これ政治活動を補佐しているじゃないですか。これは私設秘書じゃないって言いきれないですよ。」と追及していた。これに対して片山大臣は「この方について私が秘書として契約したこともなく給与報酬などを払ったこともなく私が指揮命令する立場にあったこともないと。」と反論していた。

これらの報道を受けてコメンテーターの星浩氏は「片山さんはですね政治資金とか政治活動のやり方が余りにも杜撰ということですよ。これから桜田さんはですね自分の役所のことをしっかり把握して国会できちんと説明すると、これ基礎中の基礎なんですけど、そこがまだできてないということですよ。それから今回入閣した人のケースでちょっと気になるのはですね答弁のときに官僚がお手伝いするケースがものすごく多いんですよ。本人が答弁できないからこういうことになっているんだと思うんですよ。そうすると官僚の抵抗を破って政治主導で政策を進めるっていうことは本当できるのかなということになりまして、これ安倍政権全体にかかってくる問題だと思いますね。」とコメントしていた。

言い間違いについてそこから大臣の業務についてどのような不都合があるのか野党議員が具体的に述べているコメントがなく、辻本議員の「また間違えたの？」と笑っている様子のみ報道されているのは適当なコメントの選定とは言い難く公平性にも欠けるのではないかと考える。これは放送法第四条第一項二号の政治的に公平であることに照らし合わせると不十分と考える。

・平成最後の園遊会→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

天皇皇后両陛下最後の出席となる秋の園遊会が東京の赤坂御苑で開かれたことについての報道。今回の園遊会での様子のほか平成以降の園遊会における両陛下のエピソードについて紹介されていた。園遊会について雨宮塔子キャスターが「天皇皇后両陛下が出席者の皆さんとやり取りしますよね。毎回自然体で素敵でもいつも楽しみにしているんです。」と述べると星浩氏は「宮内庁の関係者に聞きますとこういうことを話しになるって言うのは決まっているらしいんですけども中身について陛下がね事前に予備知識を詰め込むってことはないそうで自然体で話をされる。例えば被災地を回ったりして色々覚えていることをその都度話すというのでそれで我々に元の自然体という風に見えるんでしょうね。」と答えていた。このトピックスは 291 秒報じられ特に問題点は見当たらなかった。

・日本の難民認定の高い壁→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

日本のシリア人難民の認定の壁の高さについてシリアの戦火を逃れ日本にやって来たユーセフ・ジュディさん一家を特集し報じられていた。2015年3月ジュディさんは難民認定を求め国を相手取った裁判に踏み切ったものの先月25日地裁に続き東京高裁は難民とは認められないとの結論を下した。これに対してジュディさんは「日本の裁判官は法律に従って判決を下した。正義に基づいて下したものではない。」と判決について批判していた。

一連の日本での難民認定の壁の高さについて東京大学大学院の佐藤安信教授は原因は日本の旧態依然とした難民条約の定義にあるとし「難民条約の解釈について拡大解釈していくという世界の潮流に対して日本はそれに背を向けているということ。現代社会のグローバルの中では非常に異質と言うか独善的と言われてもやむを得ない部分があるんじゃないかと思います。」と述べていた。

これらを受けて星浩氏は「政府も裁判所も法律、条約、厳格に解釈しているためだというんですけれども、このシリア難民人道上の問題なんですよ。やっぱり世界的に見ても日本はこの経済規模でこの難民の受け入れの数は少ないじゃないかっていうのは明らかにそういうふうに評価されているわけですよ。ですからここは今、国会では外国人労働者の受け入れ問題が議論されていますけども、日本に来る外国人に対して我々全体でどういう風に向き合っていくかって言うのはやっぱり真剣に考えてみる必要があると思いますね。」と述べていた。

シリア難民の認定率の低さを指摘する一方で経済支援など国際的に評価されている一面も報道されており一艇の公平性が維持されており放送法上の問題はないと結論する。なおこのトピックスの報道時間は544秒であった。

・辺野古移設で国と沖縄県が初協議→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

沖縄のアメリカ軍普天間基地の辺野古への移設をめぐる杉田官房副長官と沖縄県の謝花副知事が都内で協議したことについての報道。菅官房長官と沖縄県の玉城知事が6日に合意した国と県による協議の一回目で月末に向けてできる限り話し合いの機会を設けることで一致したと報じられた。このトピックスは31秒で特に問題点や賛否が分かれる点は見当たらなかった。

・会計検査院が検査結果を安倍総理に報告→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

会計検査院が昨年度の検査結果をまとめ安倍総理大臣に提出したことについての報道で官庁などが指摘された税金の無駄遣いや制度の不備は374件およそ1156億円にのぼったと伝えられていた。このトピックスは18秒で問題点は見当たらなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし